

神奈川県立こども医療センターオレンジクラブ



ボランティアニュース

201号 2020年7月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦興

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

ブログ <https://blog.kcmcvolunteer.com>

「入院しているお子さんたちを感染させない事」を一番に考え、2月から新型コロナウイルス感染対策を取りはじめて半年が経過しました。この間、オレンジクラブの皆さんも活動を自粛してきました。そして今徐々に再開しています。今回は、病棟保育士の皆さんに頂いた、この間のお子さんたちの様子やボランティアさんへのメッセージをご紹介します。また活動時の感染対策や再開状況をお伝えしていきます。

保育士からボランティアの皆さんへの一言メッセージ♡と、病棟の様子🍀

- ♡この状況の中で七夕飾りも無いかと諦めていましたが、季節を感じられる事と、短冊が掛かっているのを見て外来も活気づいてきたことを実感し嬉しく思いました。いつもありがとうございます。(同3通)
- 🍀七夕飾りつけは、こどもたちが実際に見ることが出来なくてもご家族が短冊を持ってきて、こどもに見せてあげていて、季節を感じ取れていていいと思いました。
- 🍀イベントの中止の為寂しく思う事が多かった。少しずつ再開時期に壁面や飾りやお花などで季節の温かみを感じることが出来、有難かったです。(同2通)
- 🍀外来治療に来たこどもたちから「手作りのおもちやが入口に置いてなかった・・・」と残念がる姿が見られた。でも、七夕短冊飾りに目をキラキラさせ、帰りに願い事を書いて飾る姿が見られ喜んでいたので安心しました。
- ♡いつも病棟でのボランティアありがとうございます。ぽぼんたさんやイベントによってこどもたちや御家族と一緒に楽しむ場がありましたが、コロナの影響でなくなってしまい残念です。活動するのが難しいと思いますが、1日も早くこどもたちの為にボランティアさんに来てくださることを願っています。
- 🍀読み聞かせを楽しみにしていた子どもがいたので残念。
- 🍀ほとんどが毎日ボランティアの方々さんに来ていただいていた病棟の為、この時期本当に残念に思っていた。ボランティアの方も入らず、面会時間も短かったためこどもたちはストレスフルの状態となり、看護師と話し関わっているが、一人の保育士で関われる人数も限られている為、ボランティアが病棟に入れることを切に願っている。
- ♡今まで通りという事が出来ない今、保育士とボランティアで協働できることはないか考えながら、新しい形のボランティア活動が実施できる日が来ることを願っています。
- 🍀こどもたちから「まだボランティアさん来ないの？」と何度か訊かれた。特に、習慣化している月1度のフットサルを気にする声が多かった。

- ♥ 保育士のみでは限界のある楽しいイベントをたくさん行っていただき、ありがとうございます。
- ♣ オンラインイベントでも、いつもと違う事やいつもと違った人と遊んだ事がリフレッシュにつながった。
- ♥ それぞれの立場や状況に応じて寄り添って頂きありがとうございました。再開をお待ちしています。
- ♣ 総合待合は、イベントも無く患者も少なくガラとした印象だったが、穏やかに過ごされていた。
- ♥ 今回の新型コロナで、改めてボランティア活動によりセンターが潤っていることを痛感した。
- ♣ ホスピタルクラウンやステッカーアート、アートワークショップ等、学童期の楽しめるイベントが無くてこどもたちは暇を持て余していました。
- ♥ 長期入院しているこどもたちにとって、ボランティア活動は毎月毎週の楽しみとして大きな役割になっていると思います。また病棟に来ていただけること、あるいはオンラインで関わっていただけることを心待ちにしています。
- ♣ 4月入職の為以前の様子がわからないが、こどもたちが「最近何もないね」と口々に話していた。こどもたちにとっては物足りなさを感じていた様子だった。そんな中、アニーの来棟は長期入院の子どもにとって、心のよりどころになっていた。
- ♣ 重心お庭も、雑草がかなり茂りさみしい気持ちになった。
- ♥ ボランティアの方々のお力を実感しております。感染面などの基準がはっきり決まり少しずつでも病棟に入ることが出来るよう願っています。また、リモートを使用するなど、対面できなくても楽しむことが出来る方法が充実してくるといいと思います。
- ♥ オンラインイベント、ありがとうございました。セッティングが難しいので、前日までに事前確認をしっかりとできると当日スムーズにいくと思いました。年齢にあった内容は、こどもたちにとっても楽しそうです。
- ♣ こどもたちにとっても、職員にとってもとてもさみしい気持ちがあった。しかし、新型コロナの感染拡大によって、ボランティアの皆様には負担をかけるわけにはいかないと思った。
- ♣ 入院するこどもたちにとって、ピエロさんやぼぼんたさんたちは生活の中で+αの楽しみになっていると思う。活動自粛は、短期入院の方が多いため病棟なのであまり気にならないが、長期入院の方の場合、入院生活の中での楽しみが欠けたものになっているのではないかと思う。
- ♥ 総合待合が活気無く、こども病院らしい明るくにぎやかな環境に戻ってほしいです。
- ♣ 現場は忙しく、気づいたら月日が経っていました。またボランティアさん達が来る事を楽しみにしています。
- ◆ お願いです。ボランティアさんの活動が楽しみであっても、体調の悪い時には動けないことも多いので、お子さんが「今日はいいです。」といった時には、そーっと見守って決して無理強いしないであげてください。(ある一人の子から)

「新型コロナウイルス感染症発生時のオレンジクラブ活動について」

オレンジクラブ代表 三木美雪

コロナウイルス感染症発生時、皆様にオレンジクラブのボランティア活動を安全安心に行っていたくために、ボランティアの『新しい活動様式』をまとめました。

オレンジクラブボランティア活動の基本は、「個人の自発的な意思に基づく主体的活動であり、無報酬であり、その活動には義務と責任がともなう。」です。

現在コロナウイルス感染症に対する有効な特效薬・ワクチン開発は完成に至っておらず、感染の危険はいまだあります。どうか活動を再開される会員の方は、ご自身の健康、ご家族の健康を第一に優先し活動されてください。お休みされる方も、どうか活動再開までお身体を大切にお過ごしください。オレンジクラブは、活動される方、お休みされる方、皆様それぞれの勇気あるご決断を尊重いたしま

す。

オレンジクラブの『新しい活動様式』について

1. 緊急事態宣言が発出された場合は、全ての活動を自粛する。
2. 緊急事態宣言解除後のボランティア活動は、こども医療センターの指針に従い、加藤コーディネーターに連絡し、再開のための注意事項等を確認する。
3. 公共交通機関を利用してセンターまでおいでになる方は、ラッシュアワーを避けて活動をする。帰宅時も同様。
4. ご自身が新型コロナウイルス感染を疑われる場合は、速やかにご自身で、
 - ① 横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター（045-550-5530）にご相談ください。なおコールセンターは、新型コロナウイルス感染症全般に関する相談も受け付けています。
 - ② 濃厚接触した場合等は、新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者相談センター（045-664-7761）にご相談し、その指示を仰いでください。
* ①と②の連絡先は、横浜市にお住まいの方の連絡先です。横浜市以外にお住まいのボランティアの方は、各お住まいの地域の新型コロナウイルス感染症コールセンター、新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者相談センターにご相談をお願いします。
 - ③ コロナウイルス感染検査結果、または濃厚接触感染結果が判明したら、速やかに加藤コーディネーターに連絡してください。
加藤コーディネーター不在の場合は、総務課ボランティア担当杉山さんまで。2人とも不在の場合は総務課職員へ連絡して下さい（045-711-2351）。夜間は対応ができませんので日中に連絡して下さい。
5. こども医療センターより感染者が出た場合、病院が保健所に相談して対応の指示を受けます。ボランティアの方が濃厚接触者になった場合は、ご連絡いたします。保健所の指示に従って行動していただきます。
6. 活動する際は密集・密接・密閉を避けて活動し、3つの基本「身体的距離の確保」「マスク着用」「手洗い」を守る。健康チェックは必ず実施する。
7. 10名以上の会議や集団での活動は行わない。調整会議や運営会議はズーム（Zoom）等を活用したWeb会議を利用する。
8. 非接触型の『新しい活動様式』のボランティア活動を取り入れる場合（例：DVDの病棟への配布等）は、コーディネーターの許可を得てから行う。

ボランティアも再開



新しい方法・外来グループ

フェイスシールドとマスクを着用した活動。母性洗濯開始。折り紙作品は、欲しいものをボランティアが手渡す。

3密を避けた活動。課題があれば、皆で検討していく。



患者図書グループ

- ・週3回、時間短縮3時間の開室から開始
- ・図書貸し出し・閲覧のみ開始
- ・利用制限4名程度



ボランティア再開状況

月		5月	6月	7月	備考
	全体的な動きとして、6月3日コーディネーターとオレンジクラブ代表三木氏より、活動再開に当たっての運用に関するお知らせを各グループに出した。(今回一部ニュースに掲載) 7月13日のボランティア運営会議は、オンラインも使用する。 *チャリティーバザー5月中止、12月の開催について検討中です。				
外来患者と接する活動	外来		手順や注意事項作成し、同時間帯2人程度で活動		マニュアル作成して再開
	外来の折り紙			7月より方法変え開始(当面きょうだい預かりメンバーで)	ボランティアが手渡す方法
	きょうだい預かり		きょうだい面会禁止の為なし。ボランティアの意見をまとめ		ご家族の状況調査予定
	患者図書			7月患者図書を再開し活動開始(月・水・金曜日)	感染対策のマニュアル作成 マルシェは図書室に設置中
入院患者と接する活動	ぼぼんた	病棟に入れないため活動無し			ボランティアの意見まとめ、活動案検討中
	Hクラウン	病棟に入れないため活動無し			「来れないでごめん」ポスター配布
	音の絵本・ミルクティ	病棟に入れないため活動無し			
	フットサル	オンライン			通院者週一回オンラインで実施
	スマイリングジャパン	病棟に入れないため活動無し(イベントの配信実施中)			「手作り紙芝居」の配布
	カリ先生とフラダンス	DVD2回作成、重心に送る(直接はできない)			DVD作成し重心施設へ
	シャボン玉・盲導犬と遊ぶ・病棟個人・スタイリングライフ・アートワークショップ	病棟に入れないため活動無し			アートワークショップは、通路の絵再開予定
	季節飾り	5月30日七夕飾り実施・かたづけ(7月14日予定)			
	アートディスプレイ	5月30日七夕飾り・かたづけと夏飾り(7月14日予定)			
	園芸	多人数を避けるため月2回を毎週に変更			活動基準作成
	作業	5月28日少人数で実施、6月以降再開			3密避ける為第1会議室使用
患者と接しない活動	吊るしびな	6月から開始			
	手芸	6月から開始 10人以内			人数制限の為、活動午前・午後
	手作り	8月まで中止			
	縫製	6月から活動開始、少人数より			
	重心作業	6月初めから洋服整理の活動開始(火・金)			
	飾り付け・絵画	各個人活動開始			
	フラワーアレンジメント	休まず活動は継続し、月1回週末などに活動			